

平成28年度事業報告

社会福祉法人 友朋会

法人本部事業報告

法人本部では、適正な法人の運営及びその運営に寄与する役員の研修等以下の事業を実施しました。

平成28年度法人経営理念・運営方針

経営理念 健やかでその人らしい生活の創造

運営方針 ①コンプライアンス（法律遵守）の徹底

②人権の尊重

③家族・社会との連携

④地域移行の推進

1、運営・ガバナンスについて

①理事会・評議員会及び評議員選任解任委員会の開催

法人の適正な運営に係り、下記の通り実施しております。

理事会

開催日	開催場所	議案
平成28年 5月26日	熊本市国際交流会館	7議案
平成28年10月13日	熊本市国際交流会館	5議案
平成28年12月13日	熊本市内	4議案
平成29年 3月23日	熊本市国際交流会館	9議案

評議員会

開催日	開催場所	議案
平成28年 5月26日	熊本市国際交流会館	7議案
平成28年10月13日	熊本市国際交流会館	4議案
平成28年12月13日	熊本市内	3議案
平成29年 3月23日	熊本市国際交流会館	10議案

評議員選任・解任委員会

開催日	開催場所	議案
平成29年 2月25日	障がい者支援施設サニーサイド	2議案

②役員等研修

例年の法人運営研修に加え、社会福祉法人制度改革についての研修に参加しています。

研修名	開催日	実施主体	参加者
経営研修会	5月27日	熊本県経営協	理事2名、評議員1名
法人制度改革対応セミナー	7月12日	熊本県経営協	理事1名、評議員1名
全国社会福祉法人経営者大会	9月14、15日	全国経営協	理事1名、評議員1名
法人制度改革対応セミナー	12月6日	熊本県経営協	理事2名、評議員1名
労務管理セミナー	1月30、31日	全国経営協	理事1名、評議員1名

③公認会計士による経営診断について

法人の経営状態を適切に把握するため、平成28年9月20日に立石和裕公認会計士による経営診断（H21～H27を対象）を実施しています。1. 決算書の一般的財務分析、2. 収益の推移と分配構造、3. 人件費に関する分析、4. 内部留保に関する分析診断の主な結果は以下の通りです。

主な診断内容
1. 決算数値の状況から財政状態、経営成績ともに良好な推移を示しています。
2. 事業収益は数年来大幅な上昇がみられますが、反面、今後の収益増化が鈍る可能性がありますので、支出に対する分配率の見直しの準備をする必要があります。
3. 収益の増加が人件費に重点的に分配されてきましたが正職員の定着率に反映されているのか検討すべきです。また、正社員の増員がなされていますが、増員の理由を検討し場合によっては定着率の改善で解決させ不足分を契約職員で対応することも検討すべきです。
4. 内部留保については、順調な事業推移から年々増加しています。但しここ数年内部留保の増加額がそのまま支払資金の増加となっています。今後計画的な投資計画を策定し内部留保の活用を図っていく必要があります。

2、地域貢献について

①生計困難者レスキュー事業

前年度から実施していますレスキュー事業には1件の相談がありました。今年度は地震の影響により生計困難な方が避難所等での支援を受けることにより、生計維持がなされている等により全体的な相談件数が減少しているとのことです。

実施日	内容
11月7日（相談） 11月8日（面談）	体調不良で離職。保険証が無く受診代を心配して通院しないまま、自宅療養を継続。預貯金が減少して家賃、電気代、水道を滞納し、大家より11月末での退去指示。生活保護を受けられないだろうかと相談を受ける。救護施設に入所が決定し、相談受付のみで終結する。
2月21日	生計困難者レスキュー事業 CSW 養成研修

②一人住まい高齢者訪問事業

訪問事業について継続して行っています。民生委員から地域独居高齢者の増加も相談されているため、今後訪問数の検討を行う予定です。

実施	訪問者数	その他
月1回定期実施 計12回実施	のべ63名	6家庭を対象に実施。 ※3月より新規等4家庭追加により 10家庭対象に実施。

③地域の清掃活動

例年の活動に加え、地域の定期清掃活動にも参加するようになりました。

行事名	回数	内容
地域ボランティア	19回	地域の菅原神社の清掃活動
地域清掃	6回	道路のゴミ拾い活動
彼岸の道づくり	2回	平野区公民館周りの草取り等

④地域交流事業

主な地域交流事業として12事業を実施しています。

行事名	日時	参加者数	その他
地域交流会	4月 1日	41名	老人会：18名
泗水西小学校運動会	雨天の為、中止		
レクリエーション大会	熊本地震の影響で中止		
泗水西小学校交流会（1）	11月22日	34名	小学生16名・先生1名参加
泗水西小学校交流会（2）	12月 9日	27名	小学生16名・先生1名参加
サニーサイド秋まつり	11月12日	623名	販売14団体・出演4団体

芋掘り体験	10月～11月	241名	3団体（保育所・幼稚園）
平野区健康フェスタ	10月9日	65名	地域住民60名参加
第36回泗水文化祭	10月28日～10月30日	-	施設作品展示
勤労感謝挨拶回り	11月18日	2名	10ヶ所
泗水西小学校学習発表会	11月12日	-	施設作品展示
グランドゴルフ交流会	12月11日	29名	平野グランドゴルフ愛好会13名
青年団餅つき	12月17日	51名	菊池市青年団15名
泗水町内1周駅伝大会	2月12日	2名	応援旗200本贈呈

⑤支援学校体験実習生受け入れ

支援学校の依頼により、体験利用実習の受け入れを実施しています。

学校名	人数	期間	実習内容
菊池支援学校	2名	6月6日～17日（計10日間）	就労継続支援B型利用実習
大津支援学校	1名	6月16日（1日間）	生活介護利用実習

3、サービス及び組織力の向上について

①福祉サービス第三者評価の受審

サニーサイドワークセンター（就労継続支援B型）、共同生活援助サニーサイドの受審を行いました。昨年度の障がい者支援施設サニーサイドに続き、通所・居住系2事業の受審を終えております。結果の公表は平成29年6月の予定です。

評価機関	実施日	審査人数	受審の内容
あすなろ福祉サービス 評価機構	2月24日 10時～15時	3名	・熊本県福祉サービス評価基準に基づく74項目に対しての調査及び聞き取りの実施
	3月2日 10時～15時	2名	・全職員対象の74項目に対しての自己評価アンケートの実施
	3月3日 10時～15時	2名	・全利用者家族に対してのサービス内容の満足度等のアンケートの実施

②権利擁護体制の向上

権利擁護に関する取り組みとして法人で定める「虐待防止対応規定」に沿って以下の活動を行っています。

実施月	実施項目	対象者	実施内容
5月	早期発見チェックリスト①	事業担当者	チェックリストを実施し、各事業・個人の課題を探る。 チェックされた項目については、内容の追及、各種会議にて対応策を決定し、全職員にフィードバックしている。
7月	早期発見チェックリスト②	事業担当者	
10月	早期発見チェックリスト③	事業担当者	
	体制整備チェックリスト 職員セルフチェック	虐待防止委員 全職員	
2月	早期発見チェックリスト④	事業担当者	
毎月	権利擁護週間	全職員	虐待防止の心得をミーティング時に復唱している。

権利擁護に関する研修の実施

	研修名	実施日	対象者
外部	熊本県障害者虐待防止 ・権利擁護研修会	11月25日	生活支援員
内部	権利擁護研修	12月16日	全職員
		4月14日	給食委託業者
		7月12日	世話人
		3月4日	家族
		2月25日	第三者委員

③苦情解決第三者委員会・虐待防止委員会の開催

苦情等については第三者に公表し、客観的な視点の下で解決すべく意見等を頂いています。

開催日	報告内容	参加者	意見
2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の動向について 第三者評価受審報告 苦情相談報告 権利擁護について 生計困難者レスキュー事業について 	【苦情解決第三者委員】 岩下和憲 村上節代 【サニーサイド】 理事長 衛藤博 施設長 宮崎嗣大 サービス管理責任者 北里うた子、村上美保	新しく第三者委員に就任し、施設を知る為にも、今後できるだけ施設行事に参加し、利用者の事や施設の事を知っていききたい。

4、人材育成・確保・定着について

①人材育成のための取り組み

人材育成は施設支援の向上の重要な手段と考え、様々な専門的な研修を織り交ぜながら、積極的に行っています。

内 容		回 数	延べ研修 受講人数	
内部 研修	熱中症・感染症対策・権利擁護等	担当職員による実施	4回	98名
	人事考課研修	社会保険労務士法人 上田事務所 緒方様	2回	24名
	腰痛予防教室	(財)熊本県理学療法士協会会長北里堅二様	1回	6名
	救急法	日本赤十字社熊本県支部 森百合子様	1回	15名
	介護研修	日本製紙クレシア株式会社 岩男詩緒里様	1回	13名
	嚥下機能研修	菊池広域リハビリテーション広域センター 清水様、中川様、濱田様	1回	15名
専門 研修	スキルアップ研修	熊本学園大学 今吉光弘准教授	10回	59名
	機能訓練研修	菊池広域リハビリテーション広域センター 理学療法士、作業療法士 2～3名	9回	30名
	行動障害研修	発達障害者支援センター わっふる	11回	74名
外部 研修	中堅職員研修・ 初任者研修等	熊本県社会福祉協議会等	101回	144名
外部 視察	施設見学	徳島県 あさがお福祉会 ユニバーサルカフェ	1回	4名
計			142回	482名

②福祉分野の人材育成のための教育実習生の受け入れ

教育実習の受け入れには、当施設社会福祉士が研修受講をすることにより受け入れが可能となります。今後も継続して行い、福祉人材の育成の一助を担っていきます。

学校名	人数	期間	実習内容
熊本学園大学社会福祉学部	1名	8月9日～9月14日（計23日間）	ソーシャルワーク実習
九州看護福祉大学口腔保健学科	2名	2月27日～3月3日（計5日間）	発達支援臨地実習
㈱日総研	1名	3月21日～4月27日（計23日間）	ソーシャルワーク実習

③人材確保の取り組み

平成28年度は熊本学園大学より、新卒者2名の採用を行いました。

実施内容	回数	対象
事業説明会等	3回	熊本学園大学（7/22、9/2、11/18 計12名参加）
施設見学会	2回	熊本学園大学（8/4、11/24 計5名参加） 熊本県社協（2/25 計1名参加）
学生ボランティア受入れ	1回	サニーサイド秋まつり 計14名参加
福祉人材採用戦略セミナー	3回	1月13日、2月3日、2月28日

④人材定着の取り組み

公平で公正な人事考課システムの構築のため社会保険労務士法人上田事務所による人事システムの研修及び指導を行いました。

内容	実施回数	対象者
人事システム／考課者及び被考課者訓練	全2回	一般職層 平成28年 5月20日 指導職層 平成28年11月14日

5、利用者・家族との関係作りについて

より良い信頼関係構築に向け以下の取り組みを行っています。

実施内容	人数	期日	場所
サニーサイド・家族会親睦温泉旅行	家族17名利用者56名	9月6日	司ロイヤルホテル
家族説明会	28家族	3月4日	サニーサイドワークセンター
個別説明	28家族	-	各事業所で実施

※家族不在の利用者については、成年後見人に説明を実施しています。

6、設備・整備の取り組みについて

	事業名	事業内容
1	サニーサイド日中活動事業 所新築工事	サニーサイド日中活動事業所等の建設。H28年度及びH29年度事業として実施。
2	車イス搭載車配備 (日産セレナ)	利用者の重度化高齢化等により、車イス1台が搭載できる自動リフター搭載車を配備。
3	バリアフリースケール 体重計の配備	利用者の重度化高齢化等により、車イスのまま体重測定が可能な体重計の配備。
4	カラオケ設備	利用者レクリエーション及び嚥下力維持向上のための、通信カラオケ設備の配備。
5	防犯設備強化	外部防犯カメラの増設及び警備会社との委託契約による安全面の強化の実施。
6	熊本地震復旧工事	熊本地震に係る一連の復旧工事の実施。

障がい者支援施設サニーサイド事業報告

障がい者支援施設サニーサイドでは利用者の方が健康で、生きがいのある生活を送ることを目的とし、生活介護事業での運動メニューや創作活動の提供、施設入所支援では余暇活動の提供や日常生活における必要な生活支援及び健康管理、栄養ケアマネジメントを通じた栄養に関する支援の提供を行っています。

1、障がい者支援施設サニーサイド利用者概要

今年度の施設入所者数は4月に女性の方1名が増え、42名となりました。また、11月に女性の方1名が退所となりましたが、12月より新規で女性の利用者が入所され、入所者数は現在42名となっています。

障害支援区分は平均支援区分が5.7（前年度より0.1区分減少）となっています。これは、障害支援区分6の方が退所され、新規で入所された方が支援区分3であった為、減少したと考えられます。

対象者	人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分							
			A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均	
施設入所	男性	24	50.0	9	12	3	18	6	0	0	0	0	5.8
	女性	18	53.2	5	10	3	15	2	0	1	0	0	5.7
	合計	42	51.4	14	22	6	33	8	0	1	0	0	5.7
生活介護	男性	26	49.9	9	13	4	19	7	0	0	0	0	5.7
	女性	20	51.8	6	11	3	15	3	1	1	0	0	5.6
	合計	46	50.7	15	24	7	34	10	1	1	0	0	5.7

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
施設入所支援	14541	365	40	99.6%	98.8%
生活介護	11733	269	40	109.0%	95.4%
短期入所	37	365	2	5.0%	32.7%

（平成29年3月31日現在）

2、施設入所支援・生活介護事業報告

【目標に対する取り組み】

支援プログラムの充実、地域移行支援の実施、活動メニューの見直し、健康管理、栄養管理について取り組みました。

①支援プログラムの充実

支援プログラムの充実として、利用者の特性や年齢に応じたグループを編成し、支援を実施しました。また、「熊本リハビリテーション病院」や「発達障害支援センターわっふる」より専門職を招き研修を実施し、専門性を高める支援に取り組みました。

実施した項目		実施内容
1	特性に合わせた専門支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの特性や年齢に応じたグループ編成（地域移行支援グループ、重度・高齢グループ、のぞみサロン） グループごとに活動を実施
2	高齢利用者へのリハビリメニューの提供	<ul style="list-style-type: none"> 重度、高齢者支援の週間スケジュール表の作成 タクティールセラピー、足浴、歩行訓練の実施
3	行動障害に対応した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 対象者4名の支援課題に対して、行動分析、アセスメント、支援プログラムの作成を行ない、個別の支援に取り組む わっふる研修にて支援の報告、見直しの実施（年9回）
4	自閉症利用者への構造的な日課の調整	<ul style="list-style-type: none"> 週間活動計画の見直しを行い、個別のスケジュールの確立を行う パーティーやタイマーの設置による構造化
5	専門職を招いての研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「熊本リハビリテーション病院」より体操やリハビリ、介護等の研修の実施（全9回） 「発達障害支援センターわっふる」より強度行動障害についての研修の実施（全11回）

②地域移行支援の実施

地域移行支援の実施として、掃除や洗濯などの日常生活支援の他、グループホームへの宿泊体験、ご家族への地域移行説明会、余暇時間の充実等の支援に取り組みました。

実施した項目		実施内容
1	グループホーム移行に向けたプログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> グループホームでの食事、入浴体験の実施（2回） グループホームでの宿泊体験利用の実施（1泊：6回） 家族に向けて、地域移行についての説明会を実施（参加家族：8/13…3家族 8/28～9/1…3家族）

2	個々に合わせた生活スキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・2班に分かれて、掃除、洗濯干し、喫茶準備、作業訓練（フルーツネット作業）の実施（269回）
3	余暇支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDや音楽CD、アイロンビーズ等趣味活動の提供 ・地域のグランドゴルフ大会への参加（1回）

③活動メニューの見直し

活動メニューの見直しとして、活動時間割の見直しを行い、月・水・金曜日は運動プログラムを提供し、火・木曜日は創作活動の提供を行うよう確立しました。また、円滑な実施が出来るよう運動メニューの手順書や活動の指示書も新たに作成しました。また、利用者の方の創作意欲向上のため、秋まつり時の展示以外にも、夏の帰省期間に施設内で展示会を開き、利用者の方の作品を飾り、皆様に見て頂ける機会を増やしました。

実施した項目		実施内容
1	統一された活動メニューの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・月、水、金曜日の午前中は運動メニュー（体操やレクレーション、ウォーキング）の実施 ・火、木曜日の午前中は創作活動メニュー（絵画や行事に向けての作品制作）の実施 ・午後からは個人活動（ペイント、貼り絵等）の実施
2	運動メニューの強化、円滑な実施の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・運動メニューの実施手順書の作成と実施（17メニュー） ・室内外ウォーキングの実施 ・日課の指示書の作成
3	展示会への作品出展	<ul style="list-style-type: none"> ・サニーサイド展示会への出展（8/11～15） 23 作品 ・菊池市泗水文化祭への出展（10/28～30） 13 作品 ・サニーサイド秋まつりでの出展（11/12） 52 作品 ・泗水西小学校学習発表会での展示（11/12） 15 作品 ・福祉大会作品出展（12/5） 3 作品

④ 健康管理

施設としての課題でもある重度化・高齢化により、入院日数の長期化が見られます。これは、下肢機能の低下や嚥下機能の低下が著しく見られた為、リハビリが必要となり病院から病院への転院のケースが5件あった（前年比147.1%）ためです。また、支援員による口腔ケアや嚥下訓練の回数を増加させ、嚥下機能の低下の予防に努めています。

実施した項目		実施内容
1	入院・通院	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度化、高齢化による入院日数の長期化 入院者（のべ） 13名 前年度比 86.7% 入院日数 425日 前年度比 147.1% ・16医療機関受診（岸病院・菊池有働病院他） 2032名（のべ） 前年度比 91.1%

2	健康診断	・定期健康診断の実施（年2回：菊池養生園）
3	感染症対策	・インフルエンザ予防接種（11/16） ・感染症対策セットの用意 ・感染症対策研修の強化
4	口腔衛生	・歯科受診、往診、口腔ケア対応（長野歯科）のべ310人 ・歯科検診の実施（年1回：長野歯科） ・支援員による口腔ケア（個人により月1回または月4回）

⑤ 栄養管理

毎月、栄養管理委員会を実施するなど、利用者の方に楽しい食生活を過ごして頂けるよう、健康面を考慮しながら利用者のニーズにあった献立作成を行っています。

実施した項目		実施内容
1	委員会の実施 （1回/月）	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回実施 ・参加者 委託側：営業、管理栄養士 施設側：施設長、管理栄養士 ・内容 献立の見直し、食材の選定、行事食、利用者からのリクエスト、設備・衛生面について
2	食事提供	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食（年10回） ・セレクトメニュー（週2回） ・誕生会（月1回） ・リクエストメニュー（年60回） ・松花堂弁当（月2回） ・地産地消、国産食材使用の取り組み ・基準カロリーの設定（年1回）
3	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・検食の実施 ・検便検査結果確認 ・清掃点検の実施 ・納入業者検品立ち合い

【栄養ケアマネジメントの実施】

ヘルスケアサービスの一環として、ひとりひとりに最適な栄養ケアを行い、栄養状態の維持、改善及び食生活の向上を図っています。また、誤嚥性肺炎予防の為、椅子の高さの調節・食事前の嚥下体操・食事中の姿勢の確認・食後の歯磨き確認・定期的な口腔ケアなど、利用者の方の病歴や生活状況により生活支援員・看護師と連携し支援を行っています。

実施した項目		実施内容
1	会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回実施 ・参加者 施設長、管理栄養士、サビ管、看護師 ・内容 特に個別対応の必要な方への支援内容について 食事摂取量、補食、体重変動、BMIの確認 食事内容・食器などの見直し

2	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケア計画の作成及び見直し（年2回） ・スクリーニング（年4回） BMI、体重変動、食事摂取量によるリスクの判定 ・モニタリング（年12回） 毎月、体重測定を行い、BMI・食事内容等を把握 やせ（7名）標準（33名）肥満（2名） 常食（22名）一口大（10名）刻み食（7名）ミキサー（3名）
---	----	---

3、短期入所・地域生活支援事業報告

平成28年度の短期入所利用件数は前年度比32.7%、地域生活支援は76.3%と共に減少が見られています。地震や台風などの災害や冬季の感染症発症などにより減少していると考えられます。

<短期入所事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
4	6	3	6	2	2	10	0	0	2	0	2	37	32.7%

<地域生活支援事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
6	4	6	8	12	5	2	5	5	5	5	8	71	76.3%

4、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。今年度は、外出や食事についての要望が多く見られており、前年度より増加しております。

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関すること	4	4	200.0%
要望（食事・外出等）に関すること	84	84	113.6%
その他（質問・自身の報告等）	2	2	0
総 計	90件	90件	118.4%

サニーサイドワークセンター事業報告

サニーサイドワークセンターでは、働きたい方に働く場を提供する事を目的とし、ハーブや農作物の自家栽培作業及び箱折り等の委託作業を行い、売り上げ向上・工賃向上を目標に取り組んできました。開所から5年経ち、利用者の方の能力向上が見られ、売り上げ上昇に繋がっています。開所当時から取り組んできた絵画活動において、新たに1名の方がアールブリュット展覧会において画家登録されています。

1、サニーサイドワークセンター利用者概要

今年度は、9月より1名の方が利用を開始され、計14名の利用となりました。利用実績は前年度比105%と大きな変動は見られていません。

対象者	人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分							
			A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均	
就労継続支援B型	男性	7	47	2	2	3	1	5	0	1	0	0	4,8
	女性	7	50	0	2	4	0	7	0	0	0	0	5
	全体	14	48,5	2	4	7	1	12	0	1	0	0	4,9

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
就労継続支援B型	3535	269	20	65,7%	105%

(平成29年3月31日)

2、体験見学会の実施

支援学校の学生及び保護者に向けた体験見学会を開催しています。実際に親子で作業体験をして頂くことで今後の進路等の参考になったとの声も聞かれました。

実施日	参加人数	実施内容
平成28年10月24日	1組(2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明、事業所案内 ・ハーブの袋詰め、箱折り作業体験

3、就労継続支援B型事業

【目標に対する取り組み】

① 工賃向上

工賃向上を目指し、新規作業として以下の商品の開発及び販売を行いました。

実施した項目		実施内容
1	栽培製品	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも（メイクイン・男爵・インカのめざめ） ・ブレンドティ（レモングラス&レモンバーム等ティーパック2種）
2	雑貨製品	<ul style="list-style-type: none"> ・デコパーシュ石鹸（香り石鹸4種・利用者絵画石鹸20種） ・アクリルタワシ ・香り袋（レモングラス・ローズマリー 計2種） ・ミニトートバック（利用者絵画6種）

【各部門の売り上げについて】

ハーブ部門・その他部門において、熊本地震の影響により種付けや苗の確保が困難となり収益減が見られましたが、委託作業部門における箱折り作業では、復興支援として熊本県産品を購入する顧客が増えた事で受注量が上がり、昨年度と比べ約 409,094 円の収益増となっています。その為、売り上げ合計が2,649,483円と前年度より105,816円増加しています。これにより平均工賃は10,899円/月（前年度平均工賃10,247円）と前年度より6%アップとなっております。

	平成28年度売上	平成27年度売上	増減	前年比
ハーブ部門	333,438円	404,702円	▲71,219円	82,3%
委託作業部門	2,171,105円	1,911,965円	259,140円	113%
その他部門	144,940円	227,000円	▲82,060円	63%
合計	2,649,483円	2,543,667円	105,816円	104%

【内訳】

ハーブ部門…ハーブ製品の栽培・加工・販売

委託作業部門…国際ケミカル（フルーツネット袋詰め）

不二コンクリート株式会社（花壇の管理、温泉施設の草取り）

有限会社 福田屋（お菓子の箱折り全8種、年賀のし貼り）

その他部門…お茶（緑茶）・梅干し等の加工販売、さつまいも・安納芋の栽培と販売

じゃがいも栽培と販売、芋ほり体験、雑貨製品、利用者絵画製品

② 販売促進

SNS を利用した商品 PR 活動及び社会就労センター協議会主催による販売会への参加を行います。

実施した項目		実施内容
1	PR 活動	・フェイスブックページを作成し、栽培状況・加工状況をアップ
2	販売会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・社会就労センター協議会主催による販売会等に参加 ほっとはあーとマーケット（7/20、7/22） 24時間TV販売イベント（8/28） 鶴岡地町民の集い（9/3） 全国経営協全国大会販売イベント（9/14、9/15） イオンモール熊本販売会（11/18、11/19、11/20） ゆめタウン光の森販売会（2/24、2/25、2/26） 計6回

③ 芸術商品開発

絵画の時間を設け、様々な題材を基に描いた利用者の方の絵を使用し、雑貨製品の開発及び販売を行いました。

実施した項目		実施内容
1	商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・デコパージュ石鯨（絵画20種） ・ミニトートバック（絵画6種）

④ アールブリュット活動

絵画制作に取り組む時間を定期的に設けています。また、絵画見学として美術館見学や他の利用者の方が制作した作品を見る機会を提供することで、新たな絵画作品への意欲向上に繋げています。

実施した項目		実施内容
1	見学会	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県立美術館（8/1） ・生の芸術アールブリュット展覧会 vol.2（12/8 天聴の蔵） ・福祉大会（12/5 熊本県立劇場） 計3回実施
2	画家登録	・アールブリュット熊本に1名登録追加。計2名登録。
3	作品出展	<ul style="list-style-type: none"> ・生の芸術アールブリュット展覧会 vol.2 作家2名（計8作品出展） ・福祉大会 12作品出展（銀賞1名、銅賞1名受賞）

共同生活援助事業サニースイド事業報告

共同生活援助事業では、地域で、生きがいや楽しみを持ち、健康で安全な生活を送る事を目的とし、昨年度より地域の一員として、平野区の住民の方と一緒に地域清掃への参加を行っています。また、地域のお宮掃除ボランティアを実施、地域交流として平野区老人会の方とのグランドゴルフ大会への参加、レンタルショップ利用、一日旅行や、外出、余暇活動等を通して、楽しみのある生活を送っています。

1、共同生活援助事業利用者概要

今年度は10月よりのばら男性利用者1名が入院、11月に退所となり、利用者数が1人減少した為、のばらの利用率が減少しています。

健康面では2月にさくら2名 わかば1名の利用者がインフルエンザA型に感染しましたが、感染拡大には至っていません。

対象者		人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分						
				A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均
共同生活援助	男性	7	55	1	2	4	1	5	0	1	0	0	4.9
	女性	6	55.3	0	2	4	0	6	0	0	0	0	5.0
	全体	13	55.1	1	4	8	1	11	0	1	0	0	4.9

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
わかば	1095	365	3	100%	100%
のばら	1608	365	5	88.1%	89.8%
さくら	2155	365	6	98.4%	100%
全体	4858	365	14	95%	95.9%

(平成29年3月31日現在)

2、共同生活援助事業

【目標に対する取り組み】

①ニーズに応じた支援の提供

グループホームでの生活に関するアンケートを実施し、利用者の方から上げられた要望・提案に

ついて検討し、対応しています。

実施した項目		実施内容
1	生活に関するアンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施（2回/年） 集計 実現可能な要望の検討とフィードバック
2	ニーズの抽出及び反映	<ul style="list-style-type: none"> 休日 GH さくら利用者食事開始時間を好きな時間に選択できるよう変更（7:50～8:20等30分幅で選択） 入浴剤の使用 日用品の購入（掃除用具の入れ替え等）

②余暇の充実

手芸、エコクラフト、和紙工芸、フラワーアレンジの4つの活動の中から参加したい活動を選び、一年を通して活動に参加することができました。3ヶ月で1つの作品を仕上げ、家族にプレゼントするなど、やりがいにも繋がっています。

実施した項目		実施内容
1	趣味活動の企画及び定期的な実施	<ul style="list-style-type: none"> 4種の余暇活動を提供 非営業日の土曜日に実施 3ヶ月で1つの作品を製作
2	余暇活動に関するアンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動アンケート（2回/年） アンケートによりグループ分け 余暇活動の提供

3、苦情相談会の開催

毎月1回苦情相談会を行いました。今年度は地震の影響や感染症対策の為、外出を控える機会が多く外出、食事に関する相談件数が多くなっています。また、生活アンケート内で、備品についてのアンケートを行った事もあり、その他の項目の相談も増えていますが、全体では相談件数は減少しています。

相談内容及び相談件数

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関すること	12	12	66.6%
要望（食事・外出等）に関すること	18	18	52.9%
その他（質問・自身の報告等）	19	19	42.1%
総 計	49件	49件	81.6%

相談支援事業所サニーサイド事業報告

昨年度で菊池圏域の障害福祉サービス利用者、ほぼ全員の相談支援の実施がなされ、今年度は、特定相談の依頼は殆どなく、新たなケースの対応は児童への相談支援を主に実施しています。

1、利用者概要

<契約利用者数>

特定（障がい者） 88名 児童 25名 計 113名（前年度より6名増加）

<実績件数>

特定相談では、計画作成、モニタリングともに前年度同様実施しています。障害児相談は新規の依頼が13件あり、計画作成も増加しモニタリングも1.5倍と毎年増加しています。

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特定	相談（延べ）	31	36	24	14	17	30	23	35	33	12	28	57	340	93%
	計画	1	0	4	3	0	4	4	2	1	2	3	7	31	84%
	モニタリング	7	10	6	1	2	15	8	18	7	5	1	23	103	106%
障害児	相談（延べ）	12	8	13	10	12	12	12	10	16	9	22	26	162	115%
	計画	1	1	2	0	2	3	0	0	6	4	1	8	28	117%
	モニタリング	3	5	5	4	1	8	5	5	3	4	7	10	60	154%

（平成29年3月31日現在）

2、相談支援内容

児童の相談の増加に伴い、家庭や学校等生活に関する相談にも対応しています。

<相談方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	109	49	14	54	32	82
障害児	55	39	2	13	25	28

<相談内容>

	の利用等 福祉サービス	関する支援	家計・経済に	健康・医療	情緒安定 不安の解消・	保育・教育	関係 家族関係・人	就労	その他
特定	318	0	7	3	0	2	2	8	
障害児	155	0	3	0	3	0	0	1	